



沼津西ロータリークラブ週報



2016～2017年度
第26巻08号
2016年9月1日

人類に奉仕するロータリー

● クラブテーマ ●
入会し みんな幸せ ロータリー

■■ 本日のプログラム ■■
会員増強セミナー報告 会員増強・維持委員会

◆◆第1200例会 会長挨拶◆◆

先月の終わりに、遅めの夏休みを取って夫婦で沖縄本島に行ってきました。観光ツアーに家族で参加して以来、20年ぶりの沖縄本島でした。

木曜日の夜に那覇空港に着きましたので、タクシーでホテルに向かい、一休みしてから再度タクシーに乗りました。国際通りにでも行こうかと思ったのですが、近くに美味しいお店はありませんか、と運転手さんに尋ねたところ、わらじ屋、という店を紹介されました。あまり観光客は行かないが、安心して食事できる店だ、とのことでしたが、その通り美味しくて値段も手頃でした。

運転手さんのお話では、今年はまだ一度も台風が本島に上陸していない、とのことで、サンゴ礁が壊滅するのではないかと心配していました。以前、石垣島でスキューバダイビングを楽しんだ時、台風が来て海水を攪拌してくれないと海水温が上昇してサンゴが白化して全滅する恐れがある、という話をインストラクターの方から聞いていたので、私も大変心配しました。沖縄は台風銀座なのですが、それはそれで、きちんと役割があるのだ、と感心した記憶があります。

金曜日からはレンタカーで島を一巡り。最北端の辺戸岬では、強風に煽られながら海の変化を楽しみました。時折激しく雨が降りましたが、おおむね青空に恵まれ、お天気の神様に感謝しながらの運転でした。

さて今回の旅で一番ショックだったのは、あるダイビングショップに電話した時のことでした。青の洞窟、と呼ばれるダイビングの名所があり、今回たまたま予約してあった宿のそばだったので、電話をしてダイビングに参加できないか確認しました。すると、今日は台風の影響で風が強く、スキューバダイビングもシュノーケリングも中止せざるを得ない、とのこと。ところでお歳はおいくつですか、と最後に尋ねられ、63歳と61歳ですと答えると、当店では60歳以上の方は、医師の診断書がない限り参加できないことになっています、というのです。これはショックでした。さらに調べてみると、その青の洞

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050(久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600(久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

窟には年齢制限があって、64歳までの方のみ参加可能、と記載があるのです。私に残された時間は、あと二年しかありません。クラブ会長などしている時間は、無いのです。

9月のプログラム

1201回 12:30 9月08日(木)	ニューウェルサンピア沼津 イニシエーションスピーチ 永井君、山本君 理事会④
1202回 12:30 9月13日(火)	沼津リバーサイドホテル ガバナー公式訪問 生子哲男ガバナー 移動例会 曜日変更
9月22日(木)	祝日休会
1203回 12:30 9月29日(木)	ニューウェルサンピア沼津 クラブフォーラム② 奉仕プロジェクト委員会

クラブ管理運営委員会報告

●ピジター

1. 名取賢吉様：沼津北RC
2. 原川 篤様：沼津北RC

★出席報告(会員総数 27名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1200回	26名	22名	-	84.62%
1198回	27名	23名	0名	85.19%

●欠席者(4名)

神尾栄一、芹澤和子、下原満知子、鶴田龍聖

●他クラブへの出席者

宮島賢次(8/27 米山梅吉記念館)

●スマイル報告(本日のスマイル 8,000円)

1. 井上武雄：入会記念日のお祝いありがとうございます。
2. 名古屋輔、3. 土屋昌之、4. 鈴木良則：本日は、田村会員増強委員長、セミナー報告宜しくお願ひします。
5. 名古屋輔：杉山編集長、1ヶ月、御苦勞様でした。
6. 成田みちよ：所用につき、早退させていただきます。

会 長	名古屋輔	幹 事	土屋昌之
広報委員長	上野祥行	編 集 者	成田みちよ

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

- ① 沼津柿田川RC
9月05日(月)→3日(土) MU受付有り
- ② 新富士RC
9月06日(火)→10日(土) おきがる無料相談所
(ロゼシアター)
- ③ 富士RC
9月07日(水) 休会
MUは、ホテルグランド富士 12:30~13:30
- ④ 富士山吉原RC
9月08日(木) 観月会 18:00 大富士ゴルフ場
MUは、ホワイトパレスフロント 11:30~12:30

2. 報告・連絡事項

- ① 次週は理事会がありますので、理事の方は出席・協議資料の提出お願いいたします。
- ② 9月のロータリーレートは、1ドル=102円です。

会員増強セミナー報告



会員増強・維持委員会 田村治義委員長

ご案内のように、今年度からRI理事会指定による8月の特別月間名称が「会員増強・新クラブ結成推進月間」となりました。当初月間に合わせて8月の第2例会日にセミナー報告を予定しましたが、プログラムの都合上本日、去る6月26日の日曜日に、清水テルサにて開催されRI第2620地区2016~2017年度の会員増強セミナーの報告をさせていただきます。

生子哲男ガバナーの開会点鐘に続く挨拶では、会員増強は最優先事項ですとの第一声が有り、なぜ会員増強と毎年言い続けなければならないか、良く考えてみましょう。

会員を常に増強していなければ、会員数は自然に減少してしまいます。そして皆さんが所属するクラブの3年、5年、10年後を想像して見て下さい。平均年齢の高いクラブでは若返りが必要です。その為には会員増強しか有りませんと述べられました。

因みに、我が沼津西RCの今日現在の年齢構成は、80代3名・70代2名・60代6名(来年70歳となる人2名含む)50代8名・40代8名の27名で、平均年齢58.66歳となっております。

その後、岡本一八研修アドバイザー・石上元久地区

会員増強維持委員長の挨拶と続き、13時から「会員増強をいかに実現したか」と言う演題で、お手元に配付させて頂きました資料の最終面に記載されております、RI第2750地区、国際大会推進委員会委員長(東京恵比寿RC所属)の石井義興氏の講演を拝聴致しました。セミナー資料に沿って報告させていただきます。

先ず、RIの会員増強プロジェクトの背景と、田中作治氏がRI会長に成られる事が決まっている事も有って、日本全体目標10万人「SAKUJI大作戦」を受けて2750地区では会員増強に力を入れたとの事です。

きっかけがポイントになります。2016年4月30日に日本一となった。成功の理由は、現状の会員分析をSWOT分析<S...強み、W...弱み、O...機会、T...脅威>即ち、クラブの内部環境と外部環境を分析して、

- ① 入会者数は不況でも変わらないーもっと増やすためにどうするか
- ② 不況になると退会者が増えるーここをどう引き留めるか
- ③ 退会者の4割は6月に集中するー「火の用心」活動...という分析結果を得た。

そこで課題1、退会者数を減らさねばならないと言う事で、退会者アンケートを取るようにした。

2011年から5年間を集計した退会者分析を実施。退会者の在籍年数の分布や退会理由の分別を行い、夫々に対応した退会防止策が必要であり、理由によっては対応出来るものがあり、打つ手は有ると言える。この5年間で入会者数は以前より増え、退会者は以前より減り、会員増強は成功した。

課題2、地区目標でもあります女性や若い人を増やしたいと言う事ですが、日本のRCは多様性に乏しく、同じパターンのクラブばかりで、特殊で独特の価値観を持っている。このままでは老人の集まりとなり、衰退の方向に向かう。若い人を年寄りの中に入れようとしている。女性を男性中心の集団に入れようとしている。だから上手く行かないと言うのが現状と言える。

日本全体で会員増加を実現したければ、入り易い受け皿クラブが必要で、若い人は若い人の中へ、女性は女性が有る程度居られるクラブへ、衛星クラブを作る事が有効な対策となり、2750地区では2011-2014にかけて9個の新しいタイプのクラブを作った。そのようにして課題1・2を解決したので会員は増え、退会者も減った。

時間の都合上、セミナー資料の全てを説明報告出来ませんので、後ほどお読み頂きたいと思いますが、会員維持の基本は「一声かける」「火の用心」活動となります。



人類に奉仕するロータリー

● クラブテーマ ●
入会し みんな幸せ ロータリー

■■ 本日のプログラム ■■
インシエーションスピーチ 永井君・山本君 理事会④

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050(久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600(久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第1201例会 会長挨拶◆◆

今日はアドラー心理学です。アドラーは、「人間の持つ全ての悩みは対人関係の悩みである」とし、どうしたら人は幸せになれるのかを具体的に説いています。

その中の一つに、「人生の調和を欠いた生き方」が、あります。物事の一部だけを見て、全体を判断してしまう生き方です。

ユダヤ教の教えに、こんな話があります。

「10人の人がいるとしたら、そのうちの一人はどんなことがあってもあなたを批判する。あなたを嫌ってくるし、こちらはその人のことを好きになれない。そして10人のうち2人は、互いにすべてを受け入れ合える親友になれる。残りの7人は、どちらでもない人々だ」。

私の経験からしても、確かにその通りのように思えます。問題は、このうちのどの人に焦点を当てるかです。調和を欠いた生き方をする人は、あなたを嫌う一人だけを見て世界を判断してしまう。あなたを嫌う、その人に問題があるのであって、決して「みんな」が悪いわけではない、という事実を忘れては行かないのです。

カウンセリングに来られる神経症的なライフスタイルを持った人が、よく使う言葉に、以下の3つがある、とアドラーは言っています。

「みんな」、「いつも」、「すべて」です。「みんな自分を嫌っている」、「いつも自分だけが損をする」、そして「すべて間違っている」。

あなたが、これらの一般化の言葉を口癖としているようなら、注意が必要だ、とアドラーは述べています。

ここにおられるロータリアンのみなさまは、どの方も聖人君子ばかりですから、こんな話は釈迦に説法かもしれません。しかし、例えばインターアクトクラブの生徒さんたちは、どうでしょうか。ひょっとしたら、自分を嫌う、そのたった一人の人に囚われて、思い悩んでいるかもしれません。アドラー心理学を学ぶことで、生徒のみなさんが対人関係の悩みから解放されるかもしれない。つまりは幸せを手にすることができるかもしれない。私は、そのことを切に願っているのです。輪読会を開いて、ともにアドラー心理学を学ぶ意味は、そこにこそあるのです。

9月のプログラム

1202回 12:30 沼津リバーサイドホテル ガバナー公式訪問 生子哲男ガバナー 移動例会 曜日変更
9月13日(火)

9月22日(木) 祝日休会

1203回 18:30 ニューウェルサンピア沼津 クラブフォーラム② 奉仕プロジェクト委員会
9月29日(木)

10月のプログラム

1204回 12:30 ニューウェルサンピア沼津 財団セミナー報告 ロータリー財団委員会 理事会⑤
10月06日(木)

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告(会員総数 27名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1201回	26名	24名	-	92.31%
1199回	26名	21名	1名	84.61%

●ビジター

1. 大野数芳様：沼津北RC 2. 原川 篤様：沼津北RC

●欠席者(2名)

井上武雄、鶴田龍聖

●他クラブへの出席者

芹澤和子、下原満知子、鶴田龍聖(9/6沼津北RC)

●スマイル報告(本日のスマイル 15,000円)

1. 神尾栄一：入会記念日のお祝いありがとうございます。

2. 土屋昌之：家族の誕生日のお祝いありがとうございます。

3. 名古良輔、4. 土屋昌之、5. 鈴木良則、6. 成田みちよ、7. 上野祥行、8. 穎川ゆう子：永井克彦さん、山本宜司さん、インシエーションスピーチ、よろしくお祈りします。

9. 永井克彦：今日は、インシエーションスピーチの日です。宜しくお願いします。

10. 名古良輔：8月は、113.78Km走りました。連続18ヶ月です。

11. 神尾栄一：欠席が続き、すみませんでした。

会 長	名古良輔	幹 事	土屋昌之
広報委員長	上野祥行	編 集 者	成田みちよ

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

- ①富士宮RC
9月12日(月)⇒14日(水)ガバナー公式訪問
- ②新富士RC
9月13日(火)⇒14日(水)ガバナー公式訪問
9月20日(火)観月会(夜間:グリーンホテル 18:30より)
9月27日(火)特別休会

2. 報告・連絡事項

- ①本日は理事会があります。理事の方はよろしくお願ひします。
- ②次週15日(木)の例会は13日(火)に変更です。場所は沼津リバーサイドホテルにて、12:30よりガバナー公式訪問です。

臨時理事会報告

- ①室伏博子君より休会届が出される。
休会期間2016年9月1日～2016年12月31日まで。⇒承認
- ②成田みちよ君より会員推薦があった内田安隆さんの推薦書の取り下げの依頼あり。⇒承認

理事会報告

1. 報告事項

- ・10/14(金)にIT推進研修セミナーが行われます。

2. 協議事項

- ①10月度のプログラムの件 クラブ管理運営委員長 宮島賢次君⇒承認
- ②米山奨学生卓話 (10/13(木)) の謝礼の件
・奨学生に対し謝礼金支給 (前年同額) ⇒承認
- ③9月24日(土)開催の米山梅吉記念館秋季祭参加の件
・会長・幹事・地区米山委員で参加し、祝儀を支給する。⇒承認
- ④10/14(金)の第3回会長・幹事会の会費の件 (場所: 沼津リバーサイドホテル)
・会長・幹事の会費と交通費実費を支給する。⇒承認
- ⑤国際奉仕としてベトナムへの支援の件
・ベトナム支援隊に支給をする。⇒承認
- ⑥IAC指導者講習会 (10/30 静岡高校) 参加の件
当クラブからは颯川ゆう子君が参加。指導者講習会運営費の割り当て分を支給する。
交通手段は、近隣クラブと共同でバスを貸し切る。交通費の割り当て分を支給する。⇒承認
- ⑦ロータリー財団100周年記念シンポジウム参加の件
11月27日に行われる、ロータリー財団100周年記念シンポジウムに名古屋会長が出席する。
登録料と交通費実費を支給する。⇒承認
- ⑧沼津4クラブ合同例会の件 クラブ管理運営委員長 宮島賢次君
委員会提案の通り⇒承認
会場 沼津リバーサイドホテル

イニシエーションスピーチ



山本宜司君

今年度、入会しました山本宜司です。生年月日は1962年6月6日生まれ54歳になります。住まいは下香貫林ノ下1988番地

家族構成は、両親・妻・長女25歳長男23歳二男22歳です。職業は、造園・観葉植物リース・生花販売です。経歴は、高校卒業後、東京農業大学農学部造園学科に進学し造園学を学びました。

大学3年の夏に、ライオンズクラブの青少年派遣事業でアメリカモンタナ州へ3週間ホームステイしました。今でも交流があります。

大学卒業後3年間東京の造園会社に勤務。そのうち1年は湯ヶ島のゴルフ場の現場でした。

3年後沼津へ戻り(有)緑香苑に入社、今に至ります。1988年に沼津JCに入会し、40歳の定年まで15年活動。JC卒業後は、商工会議所青年部に50歳の定年まで在籍。また平成16年より主任児童委員を国から委嘱され活動しています。

この度宮島さんの熱心なお誘いを受けて入会となりました。宜しくお願いします。



永井克彦君

7月に芹澤貞治様のご推薦により入会させていただきました永井克彦です。私は1959年6月4日に広島県広島市で生まれ、5歳の時に広島県福山市に引っ越し、大学時代を名古屋で過ごしました。1984年に住友金属鉱山株式会社に入社し、主に愛媛県と宮崎県の事業所で非鉄金属製錬事業に携わり、今年4月にエヌ・イーケムキャット株式会社勤務となり沼津に赴任しました。家族は妻と子供2人の4人家族で、愛媛、宮崎、インドネシア、東京と家族全員で移り住みましたが、2000年に名古屋に自宅を建設して以来、単身赴任生活が続いています。

趣味は魚釣りやジョギングで、現在はインドネシアで覚えた下手ゴルフを恥ずかしくないレベルまでにしたいと練習に励んでいます。

この度、沼津西ロータリークラブに入会させて頂いた事で、業種を超えて皆様方とお会いして、会社では聞けない貴重な卓話をお聞きする事で、新しい刺激を受けています。これからも宜しくお願い致します。

-----8月分出席一覧-----

颯川 (③)	久松 (2、1)	井上 (1)	神尾 (1)	宮口 (③)	宮島 (③) +1	本村 (③)
室伏 (0)	永井 (2)	名古屋 (③)	成田 (③)+1	芹澤和 (③)	芹澤貞 (③)	重光 (③)
下原 (2)	杉山 (③)	鈴木博 (③)+1	鈴木和 (③)	鈴木良 (③)	田村 (③)	土屋 (③)
鶴田 (③)	植松 (③)	上野 (③)	渡邊勝 (1)	渡邊亀 (2)	山本 (③)	
			例会出席%	85 . 00 %	地区報告%	86 . 25 %

氏名(ホームクラブ出席数、他クラブ出席数)+超過出席数。丸数字はホームクラブ出席100%を示す。



沼津西ロータリークラブ週報



2016～2017年度
第26巻10号
2016年9月13日

人類に奉仕するロータリー

● クラブテーマ ●
入会し みんな幸せ ロータリー

■■ 本日のプログラム ■■
■ ガバナー公式訪問 沼津北RC合同例会 ■

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050(久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600(久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第1202例会 会長挨拶◆◆

我がクラブは昨年度創立25周年を迎えました。そして7月からは新しい一歩を踏み出しました。クラブ戦略計画委員会を立ち上げ、今後5年間のクラブ目標を話し合いました。

そして作成した計画を、沼津西クラブ・トリプルスリー計画と名づけました。3割、30名、300ドルです。現在我がクラブの会員数は27名、女性会員は5名、18.5%です。今後5年間の目標として、女性会員の割合を3割。会員数を30名。そして一人当たりの寄付総額を300ドルとしたのです。

現在の会員一人当たりの寄付額は、ロータリー財団、米山奨学会、ポリオプラス寄付金などを含めて、ほぼ300ドルですが、5年後にはコンスタントに300ドルを維持できるように目標を立てました。

まずは会員増強です。我がクラブにとって30名の会員を維持するのは、これまで大変困難でした。ここは辣腕営業マンであるジャームRI会長に学びました。

「私達の活動を前にすすめるためには、進んで奉仕する手、思いやる心、聡明な頭が必要です」とロータリアンの皆さんに話すと、いつも大きな拍手をもらえる。

「あなたは、地域社会を良くするために必要なスキル、才能、人格をお持ちです。私たちと一緒に地域社会で活動していただけませんか」と口説くのです。ジャーム会長は、このように語っています。

そして決め手の一言は、「First in the family」プログラムです。これはジャーム会長が故郷のチャタヌーガクラブで実施している奨学金制度です。これにより、これまで家族から誰も大学へ進学していなかった若者に進学の機会を与えよう、という計画です。つまりは、「First college student in the family」という内容です。

新しく会員を勧誘する際には、我がクラブでは最後に、こうさきやくのです。あなたも沼津西クラブに入会し、「First rotarian in the family」、家族で初めてのロータリアンになってみませんか、と。

9月のプログラム

1203回 12:30 ニューウェルサンピア沼津 クラブフォーラム
9月29日(木) ② 奉仕プロジェクト委員会

10月のプログラム

1204回 12:30 ニューウェルサンピア沼津 財団セミナー報告
10月06日(木) ロータリー財団委員会 理事会⑤

1205回 12:30 米山梅吉記念館 米山奨学生卓話
10月13日(木) 移動例会

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告(会員総数 27名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1202回	26名	20名	-	76.92%
1200回	26名	22名	4名	100%

●ゲスト

- 2016-17年度国際ロータリー第2620地区 生子哲男ガバナー(清水中央RC)
- 2016-17年度国際ロータリー第2620地区 大橋康紀地区副幹事(清水中央RC)
- 2016-17年度国際ロータリー第2620地区 静岡第3分区前島正容ガバナー補佐(富士宮RC)

●欠席者(6名)

穎川ゆう子、井上武雄、宮口雅仁、本村文一、下原満知子、渡邊勝也

●他クラブへの出席者

杉山真一、成田みちよ、神尾栄一、渡邊勝也
(9/12 沼津柿田川RC)

●スマイル報告

- 名古屋良輔、2. 土屋昌之、3. 鈴木良則、4. 芹澤和子、5. 杉山真一、6. 成田みちよ、7. 上野祥行、8. 鈴木和憲、9. 神尾栄一：生子ガバナー、前島ガバナー補佐、本日は、よろしくお願ひ致します。
- 芹澤貞治：生子ガバナー、前島ガバナー補佐、本日は、よろしくお願ひ致します。私、今年の今頃を思い出します。
- 成田みちよ：所用につき、早退させて頂きます。

会 長	名古屋良輔	幹 事	土屋昌之
広報委員長	上野祥行	編 集 者	成田みちよ

1. 他クラブの例会変更等

- ①沼津柿田川RC
 - 9月19日(月) 祝日休会 (MU受付無し)
 - 9月26日(月) 夜間例会 (MU受付有り)
- ②富士宮RC
 - 9月19日(月)⇒17日(土)夜間例会 例会場変更 花の湯
 - 9月26日(月) 昼間例会
- ③富士RC
 - 9月21日(水) 夜間例会
 - MUはホテルグランド富士フロントにて 12:30～13:30
- ④新富士RC
 - 9月20日(火) 特別休会
 - 9月27日(火) 観月会 (夜間：グリーンホテル)
- ⑤富士宮西RC
 - 9月16日(金)⇒14日(水)ガバナー公式訪問
 - 9月23日(金) 裁量休会
- ⑥富士山吉原RC
 - 9月15日(木)⇒14日(水)12:30於： ホテルグランド富士 ガバナー公式訪問
 - MU：ホワイトパレスフロント 11:30～12:30
 - 9月22日(木) 祝日休会 MUは行いません。

2. 報告・連絡事項

- ①次週22日(木)は、祝日休会です。

沼津北RC会長挨拶



沼津北ロータリークラブ
鈴木幸彦会長

生子ガバナー、大橋地区副幹事、前島ガバナー補佐、本日はお忙しい中ありがとうございます。そして西ク

ラブの皆様、本日はよろしくお願ひいたします。後程、生子ガバナーより、本年度の地区目標、活動方針などのお話をいただけたと思います。生子ガバナーよりお願ひします。

ところで、最近ロータリーの友を読んでいて違和感を覚えた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。私も何となくしっくりこないという感覚でしたが、先週配布されたロータリーの友9月号を読んで謎が解けました。10ページ目に「お気づきですか？ロータリーの友が少し変わりました」という見出しで、友誌のサイズがA4変型判からA4判に変わったとの記事が出ておりました。皆さんはお読みになりましたか。

私が沼津北RCに入会する際、当時のロータリー情報委員長であった後藤さんより、ロータリアンの義務として、「例会に出席すること」「会費の納入」そして、「ロータリーの友の購読」であることを教えていただきました。正直なところ、毎月、ロータリーの友のすべてに目を通すことは、なかなか難しいのが本音ですが、今期会長となり、クラブテーマに「新しい時代に合った源流回帰」を掲げましたので、初心に帰って読む努力をしております。

この公式雑誌を読むという義務は、人様から確認されることではありませんので、守りにくい義務ですが、ロータリアンの義務であることを、源流回帰して思い出してみてください。



国際ロータリー第2620地区
生子哲男ガバナー

2016年1月16日-24日の1週間米国カリフォルニア州サンディエゴで開催された国際協議

会に出席してきました。

本会議10回、晩餐会2回、アイデア交換6回、ワークショップ4回、のスケジュールで毎日朝8時30分から夜9時過ぎまで、ロータリーの精神や考え方話し方、特にロータリーモーメントでは限られた時間内にいかに相手に伝えるかなど、いろいろなテーマでデスクセッションしました。

2016～2017年度RIジョンF・ジャーム会長は、世界200ヶ国以上535地区（日本は34）のガバナーエレクトとその配偶者、RI役員とその配偶者を含め、約1500名が「マンチェスターグランドハイヤット」に集結し、この国際協議会で次年度のテーマを発表しました。

「人類に奉仕する ロータリー」
ROTARY SERVING HUMANITY

ロータリーの一員である皆さんは、ロータリー活動を通じて社会に貢献し人類に奉仕する「大きなチャンス」である。

そしてまた、社会貢献への熱意を持つ職業人が集うロータリーですから、ロータリー独自の力を生かせば大きな目標も達成でき、発展途上地域におけるきれいな水の提供、紛争地域での平和推進、基本的教育と識字率向上、など世界の中のロータリアンは様々な奉仕活動を行ってます。

その中でも特に重要なのがあと少しと言われているポリオの撲滅であると強調しました。

さらに、ジョンF・ジャーム会長は会員増強に関しても最優先項目としております。私も今年度の地区の目標に最優先項目として、事あるごとにお話しをさせて頂いております、なぜ会員増強と毎年言われ続けなければならないのか良く考えてみましょう。会員を絶えず増強していなければ会員数は自然に減少してしまいます。

そして、今の貴方が所属しているクラブの3年、5年、10年後を考えてみて下さい。特に平均年齢の高いクラブは深刻です。若返りが必要です。これを実行するには会員増強しかありません。ジョンF・ジャーム会長は、「ロータリーがさらに前進するには意欲と思いやりと知恵にあふれた人たちがもつと必要」、そして「40歳以前の若い人、女性、退職後間もない人、現役で働いている人達がロータリーに入会したくなるような柔軟性のあるクラブが必要」だと言ってます。

この10年間 世界のロータリアンの数は120万人の横這いです、これは、何を意味するのでしょうか、この10年間入会したのと同数のロータリアンが退会している事になるのではないのでしょうか。

どうしたら退会をなくす(減らす)ことが出来るでしょうか、会員からのフィードバックを基にクラブで会員増強計画を立てて、入会者にとって魅力あるクラブを作り、会員の所属意識を高める方法を会員増強計画に柔軟に取り込んで行くことが重要です。そして、クラブの会員が増えればもつと効果的で、より多くの活動が出来るという事をロータリアンに再認識してもらうことが重要です。

2016年6月末の日本のロータリアンの数は89,756名です。

そして、次に来る重要項目は、ロータリー財団への寄付と補助金への積極的活用です、1917年アトランタ国際大会で当時のアーチ・クランプ会長の提案でロータリー財団の種がまかれ、その時の寄付額が\$26,500でした、「世界でよいことをする」を掲げ、今年で財団100周年です、現在の財団には2億6千900万ドルの寄付があります。

年次寄付、恒久基金（ベネファクター）、大口寄付（メジャードナー）用途指定寄付等がありますが、年次基金（年次寄付）はロータリー財団活動の主な資金源です、毎年続ける寄付で3年後に50%が地区活動資金（DDF）として地区の裁量の下使用される。恒久基金は将来のロータリー財団プログラムの財源で、元金を使わず投資利益のみを使用（ベネファクターがこれに該当する）、年次基金の平均金額 \$150 を目標、ベネファクター各クラブ1名。

次はポリオ撲滅ですが、2580地区の山田つねさんと2750地区峰英二さんの両ロータリアンがロータリーのポリオブラスの為に身を挺して尽力された、この事によりRIにポリオ撲滅運動が提唱され（1986年）これが国際ロータリーの運動として発展したものです。2016年1月から8月24日迄でパキスタン13症例、アフガニスタン6症例となり、ナイジェリアが2症例と、パキスタンとナイジェリア共に2症例と、6月迄より増えましたが、あと少しです。

今年はポリオ撲滅において非常に重要な年になります。伊勢志摩サミットのG7でポリオ撲滅の目標達成について再認識されました。

次は日本独自の「米山記念奨学会」への理解と支援です。普通寄付と特別寄付があり金額の合算合計平均16,000円（1人/年間）をお願いしていますが

「普通寄付」は日本の全てのロータリークラブからの寄付で、定款に基づきクラブで決定した金額の会員数分を半期に一度クラブを通じて納入する。

「特別寄付」は個人、法人、ロータリークラブから普通寄付以外に任意で寄付されるもので金額も時期も問わない。ロータリー外からも受け付ける。

今年は、米山「サブクラブ」制度を取り入れます。今まで米山奨学生を一度も受け入れてないクラブの理解を深めるために行います。

ロータリーの公共イメージ向上

世界中で行っている奉仕活動を地域社会で理解してもらい、ロータリーの奉仕活動を地域社会に知ってもらうことが重要で、メディアの活用です。

本年はFMラジオ清水のマリンパルでロータリーのPR、地区ホームページの広報、IT推進委員会の所をクリックすれば聞くことができます。

今年度のFM放送は2016年7月から2017年6月まで毎月の最終土曜日で一年間です、時間は午前9:35~9:50迄。新聞にロータリーの活動が分かる写真記事が載る様PRする等。

地区大会への参加（11月19-20）東静岡 グランシップで開催

アトランタ国際大会参加登録料

2016年12月15迄 \$340
2016年12月16～～2017年3月31日迄 \$415

ロータリーカードの加入の推進

MY ROTARYの登録推進

2016年規定審議会はクラブ運営に大幅な柔軟性を認めました。

これらの決定には、例会の頻度、場所、方法、および会員種類に関する変更が含まれます。

今回の規定審議会の決定により、全てのローリークラブは例会、クラブの構造、会員種類、について規定審議会が承認した新しいオプションを取り入れてクラブ細則を修正することが可能となります。

ただし、これらの変更を加えないことを選択するクラブは、従来と同じ方法を取り続けることが出来ます。

- 例会の曜日と時間を自由に決定する
- 必要に応じて例会を変更または中止する
- 奉仕プロジェクトまたは社交行事を「例会」とみなす
- 直接顔を合わせる例会、オンラインでの例会、その両方を交互に行う例会、あるいは両方の方法を同時に用いる例会（例、直接顔を合わせる例会にオンライン [ビデオチャット] で参加する）のいずれかを選ぶ
- 出席要件、または出席要件を満たさなかった会員の終結に関する方針を緩める（または厳しくする）

クラブは、少なくとも月に2回、何らかの方法で例会を行う限り、例会頻度を減らすことが出来ます。ただし、各月の最終例会後15日以内に月次出席報告をガバナーに提出するという要件は変わりません。

次の場合は出席規定の適用が免除される。

理事会承認の条件と事態に従った欠席の場合。理事会は、正当かつ十分な理由による会員の欠席を認める権限を持つ。

この出席規定の適用の免除は最長12か月間とする。ただし、健康上の理由の場合はこの限りではない。

出席免除の部分も変更があります、今までは在籍年数と年齢の合計が85以上が対象でしたが在籍年数20年が加わりました

（在籍はどのクラブでもいいです合計在籍年数20年）。

出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもってクラブ幹事に通告し、理事会が承認した場合は出席免除となる。

入会金の規定も変わりました、入会金は徴収してもしなくても良いことになりました、そして入会金と言っても言わなくても良いことになりました。

これらの決定は標準ロータリークラブ定款の現行の規定に変更を加えるものではありません。

「思いやりと 寛容の精神」のある「こころ豊かなロータリアン」になりましょう



人類に奉仕するロータリー

● クラブテーマ ●
入会し みんな幸せ ロータリー

■■ 本日のプログラム ■■
クラブフォーラム② 奉仕プロジェクト委員会

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050(久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600(久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第1203例会 会長挨拶◆◆

今日の話は音声入力です。音声入力、つまりパソコンやスマホに話しかけると、そのまま文章してくれる、という機能です。多分ここにいらっしゃる誰よりも早く、私は音声入力を使用してきたと思います。20年以上前、ある雑誌に音声入力について投稿したところ、朝日新聞の記者の方が読んでくださり、取材を受けました。そして取材の内容が全国版に掲載されました。

当時はIBM社がピア・ボイスという製品を開発していました。まずソフトをパソコンにインストール、導入します。そのあとでマニュアルに記載されている例文をパソコンに繋いだマイクに向かって延々と話すのです。つまりはパソコンに学習させるわけです。

現在と比較すると、まだまだ初歩的性能でした。しかし、いずれはこれが主流になる、と当時私は感じました。キーボードとマウスというパソコン誕生からの入力方法でも、特に私は不自由を感じませんでしたが、どこか違和感を感じていました。そんな時に出会ったのが音声入力です。

音声入力開発の主役は、現在グーグルとアップルです。スマートフォン上で、その正確さと機敏さで熾烈(しれつ)な開発競争が展開されています。ともに常時インターネットに接続されている環境下で、サーバー上のビッグデータと人工知能を駆使して音声を変換するわけです。

両者のシステムは、ともに十分な変換精度を獲得しています。ただし決定的に異なる点があります。それが句読点の変換です。つまり、まる「。」と、てん「、」です。文章を入力するという目的のためには、句読点は必須です。グーグルで、「まる」と話すと、まさに「まる」と変換されます。一方アップルでは、きちんと句読点に変換されます。

両者は目的が異なっているのです。グーグルでは、検索エンジンとして、いかに正確に音声を変換するかに重点が置かれているので、句読点は重要ではありません。しかし音声で文章を作成しようとする時、この点は無視できません。アップルの方が、その点では一日の長があります。

東京オリンピックまでには、観光客が訪れる主な場所、駅、空港、ホテルなどでは、スマホを使って、ほぼ同時通訳的に使える多言語変換システムが構築される予定です。超高速通信と人工知能AIが、それを可能にするのです。

10月のプログラム

1204回 12:30 10月06日(木)	ニューウェルサンピア沼津 財団セミナー報告 ロータリー財団委員会 理事会⑤
1205回 12:30 10月13日(木)	米山梅吉記念館 米山奨学生卓話 移動例会
1206回 12:30 10月20日(木)	ニューウェルサンピア沼津 クラブフォーラム③ 広報委員会
1207回 12:30 10月28日(金)	沼津バーサイドホテル 沼津4クラブ合同例会 ガバナー補佐訪問 移動例会 時間・曜日変更

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告(会員総数 27名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1203回	26名	23名	-	88.46%
1201回	26名	24名	1名	96.15%

●ビジター

1. 影山恒義様：沼津北RC

●欠席者(3名)

穎川ゆう子、宮島賢次、成田みちよ

●他クラブへの出席者

神尾栄一、杉山真一、成田みちよ、
渡邊勝也(9/12 沼津柿田川RC)
鶴田龍聖(9/13 伊豆中央RC)
鈴木博行(9/20 沼津北RC)
名古屋良輔、土屋昌之(9/24 米山梅吉記念館)
神尾栄一、杉山真一(9/26 沼津柿田川RC)

●スマイル報告(本日のスマイル 14,000円)

- 影山恒義様(沼津北RC)：お世話になります。
- 重光 純、3. 神尾栄一：家族の誕生日のお祝いありがとうございます。
- 名古屋良輔、5. 土屋昌之、6. 鈴木良則、7. 田村治義：奉仕プロジェクト委員会クラブフォーラムを宜しくお願いします。
- 本村文一：穎川さんの個展に行ってきました。相変わらず、素晴らしく感動しました。
- 上野祥行：9/17に献血に行ってきました。
- 下原満知子：所用により早退させていただきます。

会 長	名古屋良輔	幹 事	土屋昌之
広報委員長	上野祥行	編 集 者	成田みちよ

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①新富士RC

10月04日(火)→2日(日) ウォーキング例会

2. 報告・連絡事項

①次週は理事会があります。理事の方は出席、協議資料の提出をお願いします。

②10/13(木)の米山記念館移動例会、10/28(金)4クラブ合同例会、11/20(日)の地区大会の出欠席をご記入下さい。

③成田君より会員推薦があった内田安隆さんの推薦書の取り下げの依頼があり、9月1日の臨時理事会で承認されました。

クラブフォーラム② 奉仕プロジェクト委員会



奉仕プロジェクト委員長
久松 但君

奉仕プロジェクト委員会の活動について、クラブフォーラムを行いました。

奉仕プロジェクトの事業には、4つの事業があります。

1. 職業奉仕事業

今年度は、平成29年1月29日に職業奉仕セミナーがあります。この報告を2月の例会時に行います。職業奉仕については、その意味や範囲などがわかりにくいので、報告の中で説明が必要ではないか、という意見がありました。また、2月頃、職場見学を計画中ですが、まだ、確定はしていません。

2. 国際奉仕事業

国際奉仕については、クラブとしての活動が難しく、今年度も名古屋会長のベトナム支援に拠出する形で行っています。名古屋会長からは、10月20日からベトナムに行くので、12月8日の例会の中で、報告をしたいとのことでした。

3. 社会奉仕事業

12月22日のクリスマス例会において、例年通り寄付金を募る予定です。昨年は、この寄付金を沼津のぞみの里などの車椅子の贈呈にあて、この際、加藤学園IACの生徒さんたちと一緒に贈呈式を行いました。以前は、お金を寄付したこともありましたが、昨年のような名入れした物品の方が良いのではないかと意見がありました。

4月もしくは5月頃には、千本浜の清掃事業を予定しております。以前、11月頃実施したこともありましたが、やはり暖かい時期に実施した方が良い、という意見がありました。また、例年通り、加藤学園や支援学校などの他団体と一緒にすることも引き続き行った方が良い、という意見がありました。

4. 青少年育成事業

加藤学園IACについては、既に8月18日に年次大会の報告を済ませています。例年通り、3月には1年間の活動報告を行って頂く予定です。IACについては、他クラブでは年1回程度の報告をするだけで、学校の例会などへの参加も少ないようです。

西クラブでは、報告だけでなくIACの例会出席や、奉仕活動と一緒にするなど、IACに関与することも多く、今後も続けていきたいと思っています。少年サッカー大会については、今年度もメダルの授与を3月の表彰式の時に行う予定です。RCの広報活動に寄与するようマスコミなどへのアピールをしていきたいと思っています。



フォーラム中の会場内の様子